

生物資源科学部だより

編集・発行 / 島根大学 生物資源科学部 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 URL: <https://www.life.shimane-u.ac.jp/>
TEL: (0852) 32-6493 FAX: (0852) 32-6499 E-mail: lif-jimu@office.shimane-u.ac.jp

Vol.31

発行 2020年 1月



令和元年度保護者会を開催 130名が来学



研究室紹介の様子



講演会の様子

11月2日(土)に令和元年度保護者会を開催し、県外を中心に130名の保護者の方にご参加いただきました。

午前中は、農林生産学科(資源作物・畜産学コース)と環境共生科学科の研究室紹介を行い、研究の内容や研究室の様子を紹介しました。参加された保護者の方からは、「実際の授業内容、研究室を見せていただき、学生生活を垣間見られて良かった」などのご感想をいただきました。

午後からは大学ホールにおいて学部説明会と大学教育センター(キャリア担当)講演会を開催しました。始めに井藤学部長が、

学部・研究科の教育・研究及び就職等について説明を行い、続いて、武田学生委員長が、本学で実施している学生支援について紹介を行いました。その後、大学教育センター(キャリア担当)の田中講師が、「島根大学のキャリア教育と就職支援」というテーマで最新の就職・進学状況、本学で実施している就職支援の内容

や大学院進学について、説明を行いました。

その後、大会館で、保護者と指導教員の個別面談を実施しました。この企画は、学生の日常を知ることができる機会として、保護者の皆様からご好評をいただいているものであり、今年度は40名の教員が対応にあたり、「普段の子どもの様子を知る教員の方とお話できてとても安心した」「このような機会を毎年続けてほしい」などのご感想をいただきました。また、大学教育センター(キャリア担当)の田中講師による就職・進路相談を行い、保護者の方の就職・進路に対する悩み・心配事などを伺い対応にあたりました。

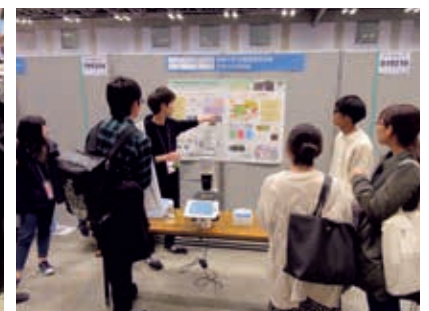
『大学院進学説明会&キャリアセミナー』を開催

今年度は、4回の大学院進学説明会&キャリアセミナーを開催しました。本企画は、大学院の概要説明だけでなく、本学の大学院修了生や大学教育センターのキャリア担当教員を講師として、学生のキャリア形成と大学院進学率の向上を目的に定期的に開催しているものです。学生にとっては、自身の将来や進路を考える良い機会となっています。今後も、学生のキャリア形成を高めるための企画を開催する予定です。保護者の皆様におかれましては、お子様の大学院進学をご検討いただきますようよろしくお願いいたします。



「しまね大交流会2019」に参加しました

2019年11月16日(土)に、くびきメッセ(松江市)において開催された、「しまね大交流会2019」(島根大学主催)に、生物資源科学部からは昨年を上回る8団体(プロジェクトセンター、地域連携含む)が出展し、学生や教員が研究・実践活動について発表しました。一般参加の生物資源科学部の学生も、山陰両県の魅力的な企業・団体と交流しました。全国的に注目されるイベントにて、まさに大交流が実現しました。



生命科学科

【1年生】 前期に引き続いて、全学共通科目と基盤科目を中心に学んでいます。生命科学基礎セミナーⅡでは、2年次からのコース選択に向けて各教員の研究情報を提供しました。このセミナーでは学期末に発表会を行う予定で、各自が生命現象に関するテーマを決め、教員や同級生との討論をしながら発表の準備を進めているところです。

(石田准教授)

【2年生】 コース分属から半年が経ち、実習がある生活にも慣れてきた頃と思います。細胞生物学コースと水圏・多様性生物学コースでは、大人数での実習以外に、少人数に分かれて各担当教員と基礎的な調査や実験を行っています。また、各教員が研究紹介を行う講義もあり、研究室配属や進路を考えるきっかけになってほしいと願っています。

(須貝助教)



水圏・多様性生物学セミナーⅠで植物調査をする2年生

生物科学科

【3・4年生】 3年生は、研究室の分属が行われ、研究に関連する論文を探したり、実験を始めています。今年は就職活動の時期が早くなり、12月にはインターンシップ、1月からは選考が始まる予定で、なかなか実験に集中する時間が取れない状況ですが、各自努力しています。4年生は、卒業研究の最終盤に突入しています。思い通りに行かない実験の問題点について深く考え、どう問題を解決すれば良いのか考える、日々試行錯誤が続いています。卒業研究で得られた知識や習得した技術は、社会に出てすぐに役に立つものではないかもしれませんが、研究を通じて得た考える力や、課題解決能力は、かならず社会で役に立つはずですので、精一杯頑張りたいと思います。(秋廣助教)

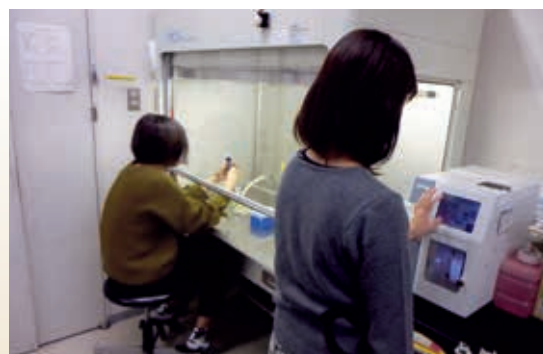


生命工学科

【3・4年生】 3年生は、10月から5つの研究室に配属されました。各研究室では、専攻特別実験や生命工学演習Ⅰを通じて、卒業研究に必要な実験技術を習得したり、科学論文を読んで発表したりすることで、実践的な実験手法とともに発表に必要な技術を習得します。これらは、卒論発表はもちろんのこと、社会に出ると必要な技術の基礎訓練となります。

4年生は、先輩や教員と討論しながら新たな発見を目指して、卒業研究に必要な実験データを取得するために、日々努力しています。先端機器を駆使しながら得た実験データは、卒業論文としてまとめ、卒論発表会で発表します。卒業研究を通して得た経験を、今後の社会生活で存分に生かして欲しいと思います。

(戒能准教授)



クリーンベンチや細胞数計測装置を使って卒業研究に取り組む4年生

新任教員からの挨拶



おの ひろき
小野 廣記 特任助教

附属生物資源教育研究センター
海洋生物科学部門
令和元年6月1日着任

令和元年6月に着任しました。私の専門は進化発生学で、動物の形態進化を引き起こす遺伝的な変化を明らかにしようとしております。普段は生物資源教育研究センター海洋生物科学部門(隠岐臨海実験所)にて、隠岐の島の素晴らしい自然に囲まれて研究をしております。現在は頭足類(イカやタコ)を用いて、鰓心臓と呼ばれる拍動器官がどのようにして獲得されたのかを明らかにするため、発生的解析とゲノム解析を通して心臓や他の器官との比較を行っております。また、臨海実習では実験所周辺での海洋生物の採集や学生実験等にも携わっております。今後とも研究や実習に取り組んでいきますので、よろしくお願いたします。

農林生産学科

【1年生】 本学科では、2年生から資源作物・畜産学、園芸植物科学、農業経済学、森林学の各コースのいずれかに所属し、それぞれの専門的な講義や実習・実験を受講します。所属コースの決定は本人の希望と1年次に受講する各種概論などの専門科目の成績によって決定されます。後期になるとこれらの専門科目が増え、授業の専門性が増してきます。（渋谷助教）

【2～4年生】 資源作物・畜産学コースと園芸植物科学コースの2年生は基礎実験や各専門科目を通じて専門的な学びを深め、3年生から所属する研究室も12月に決めました。農業生産学コースの3～4年生は特別研究や卒論研究の取りまとめに向けて、実験で得られた試料の化学分析やデータの解析に取り組んでいます。森林学コースの2年生は8月に林業技術実習Iで樹木の識別、初期造林の作業等を、3年生は9月に森林学実習IIで森林調査、合板工場や美郷町の山村振興の見学等の宿泊実習を行いました。酷暑の中でしたが、大きな怪我や事故無く実習を終えました。4年生は11月に中間発表を行い、卒業論文の完成に向けての1歩を踏み出しました。農林生態科学コースの3年生は、各研究室で自らの研究テーマに取り組み、4年生は、卒業論文作成のために研究のラストパートに入っています。農業経済学コースの2年生は、農村調査分析論にて、雲南市や飯南町の田植え・稲刈り交流イベント、運動会、お祭り、郷土料理教室に参画しました。3～4年生は、2月のポスター・卒論発表会に向け、各自の研究を進めています。（井上教授・渋谷助教）



環境共生科学科

【1・2年生】 環境共生科学科の1年生は、入学して半年たち大学生活に慣れてきました。環境共生科学概論では、学科全教員の研究内容について理解を深めています。2年生になった時に、環境生物学、生態環境学、環境動態学、地域工学から1つのコースを選びます。2年生は、所属したコースで専門的な講義や実験科目を履修しています。専門的な講義では各教員の研究成果を含めたその分野の最新の知見を学んでいます。3年生になった時に、所属する研究室を選び、各教員の指導のもと本格的な研究を行います。1年生も2年生も授業で得た知識や教員の研究内容だけでなく、卒業後の進路も念頭に置きつつ、来年4月にどのような選択をするかを考えています。



カワニナと水を採取している様子

（林助教）

地域環境科学科

【3・4年生】 新元号「令和」の初年度である2019年度も、いよいよ終わりを告げようとしています。3年生は後期から各研究室に配属され、現実の世界で生じている、地域環境科学に関わる様々な喫緊の課題に立ち向かうための基礎力作りに一切の余念がありません。4年生は、研究室ごとに極めて特色がある、ヴァリエティ豊かな卒業研究に日夜取り組んでおり、その完遂を目指して全力を尽くしています。それぞれの学年、そして学生が、今後の悔いが残らないように力を振り絞って学究に励んでいるところです。各学生が、着実に、そして自発的に今後の糧となるものを得ることが出来る1年となるよう、強く願っております。（吉岡秀和助教）



微生物を判別している実験の様子

令和元年度成績優秀者・正課外活動優秀者を表彰

【成績優秀者】

表 拓也 塩見まみや 逸見 周平
 前頭道太郎 渡部 将弘 増田 菜緒
 森本 涼介 小林 綾里 臼井 大喜
 高橋 海登 西田 香織

【正課外活動優秀者】

森 佳穂 齊藤有紀子 (敬称略13名)



7月19日(金)、令和元年度の成績優秀者と正課外活動優秀者の表彰式を執り行いました。生物資源科学部では、成績優秀者11名、正課外活動優秀者2名が学長から認定され、その内10名が表彰式に出席し、井藤学部長から表彰状と記念品を受け取りました。

成績優秀者は、前年度1年間の学業成績に基づき、2年生以上の

各学年・各学科最上位の学生が選出され、正課外活動優秀者は、学力基準を満たした4年生のうち、正課外のボランティア活動・地域貢献活動・学内委員活動等による通算獲得ポイントが上位2名の学生が選出されます。いずれも今年度後期分の授業料が半免されるという特典があり、就学上の大きな励みとなっています。

卒論・修論発表会、研究活動発表会を開催

生物資源科学部では卒業論文発表会を、各研究科では修士論文発表会を開催しています。発表会では毎回活発な質疑が行われており、学生にとって日々の研鑽の成果を披露し、また自らの研究を深める貴重な機会となっています。

主な発表会の開催予定

発表会名	発表者	
生物資源科学部 卒業論文発表会	学部4年	
学 科	コ ー ス ・ 分 野	日 程
生 物	—	令和2年2月17日(月)
生 命 工	—	令和2年2月 8 日(土)
農林生産	農業生産学教育コース	令和2年2月 4 日(火)
	森林学教育コース	令和2年2月 7 日(金)
	農林生態科学教育コース	令和2年2月 5 日(水)
	農村経済学教育コース	令和2年2月 3 日(月)
地域環境	生態環境工学分野	令和2年2月 7 日(金)
	生物情報工学分野	令和2年2月 7 日(金)
	地域環境工学分野	令和2年2月 5 日(水)

発表会名	発表者	
生物資源科学研究科 修士論文発表会	修士2年	
専 攻	分 野	日 程
生物・生命科学	生 物	令和2年2月 7 日(金)

発表会名	発表者		
自然科学研究科 修士論文発表会	修士2年		
専 攻	コ ー ス	分 野	日 程
環境システム科学	環境共生科学	森林生態環境学以外	令和2年2月12日(水)
		森林生態環境学	令和2年2月 7 日(金)
農生命科学	生命科学	生物科学	令和2年2月 7 日(金)
		生命工学	令和2年2月18日(火)
	農林生産学	農業生産学	令和2年2月 4 日(火)
		農業経済学	令和2年2月 3 日(月)

発表会名	発表者
生物資源科学研究科・自然科学研究科 研究活動中間発表会	修士1年
研究科・コース	日 程
生物資源科学研究科 自然科学研究科3コース (環境共生科学、生命科学、農林生産学)	令和2年2月10日(月)

学会等における受賞者

受 賞 者	受 賞 内 容
井上 憲一 教授(農林生産学科)	食農資源経済学会 学会誌賞
吉岡 秀和 助教(環境共生科学科)	令和元年度水文・水資源学会論文賞
吉岡 秀和 助教(環境共生科学科)	日本シミュレーション学会 Best Paper Award

令和元年度島根大学学位授与式 (松江キャンパス)について

日時／令和2年3月19日(木)10:00～
 会場／島根県民会館
 (島根県松江市殿町158)